

# 平成 25 年度 一般採用試験前期

## 公 民 (倫理、政治・経済) 試験問題 (8 頁中の 1)

### (人文・社会科学専攻)

(注意) 解答はすべて別紙解答用紙の定められた欄または枠内に記入すること。正しく記入していない場合には採点されないので注意すること。

- 1 次の空欄( ① )~( ⑦ )に最も適当な語句を記入し、問 1 ~ 問 3 に答えよ。ただし、同一番号には、同じ言葉が入る。

イスラームの神アッラーは、全知全能の人格神であり、天地万物の創造者として唯一絶対で永遠の超越的存在である点において、キリスト教的な神と類似しているが、イスラーム教とキリスト教との間の根本的な相違の一つとして、前者が後者の「三位一体論」を否認していることが指摘できる。従って、ムスリムにとってイエスは、神の子ではなく、あくまでもアッラーの啓示を伝えるために遣わされた( ① )の一人である。その他に旧約聖書に登場するアダム、ノア、アブラハム、イサク、ヨセフ、モーセなども、イスラームにおいては( ① )として重んじられている。また、7世紀初頭にアラビア半島で天使ガブリエルから神の啓示を受けた( ② )は、最後の( ① )かつ使徒であって、神性を有する者とはみなされていない。クライシュ族の商人出身である( ② )の思想には、商業取引における契約や相互的信頼関係を重視する精神が反映されている。ムスリムにとって最も重要な( ③ )として位置づけられている『( ④ )』は、( ② )が受けた啓示をアラビア語で編集して、最終的には彼の死後に完成したものであるが、出エジプト記や福音書などの新旧約聖書に含まれている文献も、イスラームでは( ③ )の一部とされている。イスラームの立場からユダヤ教、キリスト教、イスラーム教は同一系列の宗教であり、ユダヤ教徒とキリスト教徒は、それ以外の宗教を信じる人々とは特別に区別された。『( ④ )』の他に、( ② )の言行録を中心とした「ハディース」という伝承も尊重され、事実上第二次的な( ③ )として扱われている。

イスラームでは、原則的に神聖な領域と世俗的な領域の区別はなく、宗教と法は深く結びつき、ウラマー(宗教指導者)はいるものの、神と信徒を仲介する聖職者は存在しない。『( ④ )』には、教義や信条だけではなく、結婚・遺産相続・刑罰・子供の扶養などの日常生活の規則や法的規範が記されている。イスラームの信仰生活の中で基本となるものは、神・天使・( ③ )・( ① )・来世・天命を信じる六信と、アッラーに対して果たすべき宗教的実践としての五行である。<sup>(1)</sup>ムスリムの礼拝は、一日 5 回( ② )の出身地である( ⑤ )のカーバ神殿に向かって行われる。かつてユダヤ教の神殿があった( ⑥ )は、イエスが十字架で処刑された町であるだけではなく、ムスリムの伝説では( ② )が昇天した聖地であり、そこに岩のドームが建てられている。つまりダビデの町( ⑥ )は、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム教のいずれにとっても聖地である。その他に、イスラームにおける重要な聖地として、( ② )が伝統的な多神教を信じる人々からの迫害を受けて故郷の( ⑤ )から逃れた先のメディナが挙げられる。<sup>(2)</sup>

正統カリフ時代が終わり、ウマイヤ朝が成立すると、イスラームの支配領域はさらに拡大し、  
8世紀にはイベリア半島からインダス川流域にまで及んだ。このようなイスラーム教の発展過程  
 の中で、ムスリムの間に政治的・宗教的主導権をめぐる争いや『(④)』の解釈に関する  
 相違が発生し、多数派のスンナ派以外の諸分派が生じた。その一つの(⑦)派は、イスラーム全体では少数派にとどまっているが、現代のイラン国内では多数派を形成している。今日  
 (⑦)派とは、第4代カリフであったアリーを血統的に正統な後継者として支持し、彼の子孫をイマーム（最高指導者）と考える諸分派の総称を指している。

問1 下線部(1)に関連して、五行に含まれないものを、次の(a)～(e)の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- (a) 巡礼 (b) 断食 (c) 喜捨 (d) 信仰告白 (e) 聖画像崇拜

問2 下線部(2)の出来事は、ヒジュラ（聖遷）と呼ばれ、その移住が行われた年は、イスラーム暦の元年とされているが、それは西暦では何年のことであるのか、次の(a)～(e)の中から正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

- (a) 661年 (b) 610年 (c) 622年 (d) 630年 (e) 632年

問3 下線部(3)に関連して、ムスリムにとっての「ジハード」という言葉の意味を説明しなさい。

- 2 次の空欄(①)~(⑧)に最も適當な語句を記入し、問1~問2に答えよ。ただし、同一番号には、同じ言葉が入る。

理想社会を意味するユートピアという言葉は、1516年に出版されたトマス・モアの書『ユートピア』に由来する。彼はその書においてイギリス社会の現状を批判しつつ、財産共有制度を持った理想社会「ユートピア国」を構想した。一般に理想社会の構想をユートピア論と呼ぶとすれば、古代ギリシアの哲学者(①)が『国家』で描き出している理想国家論などもその一種と見なすことができ、また人文主義者であったモア自身もその書から大きな影響を受けているが、(①)<sup>(1)</sup>はそこで男女平等、子女の共有、哲学者による国家の統治などを説いている。

近代の産業革命の進展は、劣悪な環境のもと低賃金で長時間の労働を強いられる貧しい労働者の群れを生み出した。このような状況に対して、人道的立場から資本主義に厳しい批判を加え、生産手段の社会的管理により搾取のない理想社会を生み出そうとする社会主義思想が生まれたが、これも上述のユートピア論の一種といえるだろう。フランスのサンニシモン、フーリエやイギリスの(②)などがその代表者である。(②)は自身の協同組合論に基づいて、アメリカにニュー・ハーモニー村と呼ばれるコミュニティーを実験的に建設した。

ドイツの(③)とエンゲルスは『共産党宣言』などで、今述べた三人の思想が資本主義の未発達の段階で生まれたことに応じて未熟な立場にとどまっていると見なし、彼らのことをユートピア的（空想的）社会主義者と呼んだが、それに対して、資本主義経済の構造の分析に基づいた自分たちの立場を科学的社会主義であるとした。(③)によると、資本主義社会においては、労働者は自身で生産手段を持たないため、それを私有する資本家に自分の労働力を売り渡さなければならないが、そのために自分の労働の成果である生産物は資本家のものとなっている。(③)は、労働者がこのように自身の生産物から遠ざけられている事態を労働の(④)として問題視し、こうした労働の(④)を克服するためには、その原因となる生産手段の私有を廃止し、生産手段を社会全体の所有とする社会主義を実現することが必要だと主張した。彼のこのような社会革命の理念を支えていたのが(⑤)と呼ばれる独自の歴史観である。それによると、人間は生活に必要な物資を社会的に生産するにあたって、物質的生産力の一定の発展段階に応じた(⑥)に入るが、こうした生産力と(⑥)が土台となって、そのうえに法律制度、政治制度、人々の社会意識といった(⑦)が形成されている。社会の生産力は、その一定の発展段階において、現存の(⑥)との矛盾におちいる。このとき支配階級と被支配階級とのあいだに(⑧)が生じるが、この(⑧)をとおして、生産力に応じた新しい(⑥)<sup>(2)</sup>が生み出されるのが社会革命である。

問1 下線部(1)に関連して、トマス・モアの友人でもあったオランダの人文主義者で『痴愚神礼讃』を著した人物の名前を(a)~(e)の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- (a) ピコ=デラ=ミランドラ (b) ペトラルカ (c) エラスムス (d) デカルト  
(e) ダンテ

問 2 下線部(2)に関連して、武力による革命に反対し、議会活動をとおして漸進的に社会を改革し、社会主義の実現をはかる社会民主主義の立場を説き、ドイツ社会民主党を指導した人物の名前を(a)～(e)の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- (a) ベルンシュタイン (b) フォイエルバッハ (c) バーナード＝ショウ  
(d) レーニン (e) ホルクハイマー

## 3 以下の文章を読んで、問1～問4に答えなさい。

現代の民主主義国家では、国民が選んだ代表者を通じて政治を行う(①)民主制が採用されている。その具体的なしくみは大きく2つに分けられる。1つはイギリスや日本にみられるように、国民が議員を選び、その議員たちの間で選出された首相が内閣を構成する(②)制である。<sup>a)</sup>ここでは内閣は議会の信任に基づいて存立しており、議会に対して責任を負う。日本では憲法において、国会が「国権の(③)」と位置づけられており、衆議院で内閣不信任案が可決されるか、信任案が否決されたときには、その内閣は(④)するか、衆議院を(⑤)して国民に信を問わねばならない。このように(②)制のもとでは、議会と内閣の関係が密接である。これとは対照的に、アメリカなどで採用されている大統領制のもとでは、国民は議員だけでなく、大統領も選び、立法権と行政権がより厳格に分離されている。<sup>b)</sup>アメリカでは、議会が大統領をその政策を理由に不信任とすることはできず、大統領は(⑥)によらない限り、任期途中でやめさせられることはない。

他方、社会主義国家では、独自の政治体制がとられている。中国では共産党の指導のもと、議会である(⑦)に権力が集中する民主集中制が採用されている。<sup>c)</sup>またアジアの多くの国々では、独立以降、経済発展を名目に、国民の政治参加の厳しい制限を正当化する(⑧)と呼ばれる体制がとられた。しかし今日までに、その多くの国々で民主化が進んでいる。

問1 空欄①～⑧を適切な語句で埋めなさい。同じ番号には同一の語句が入ります。

問2 下線部a)に関して、つぎのうちで日本の首相に認められている権限として不適切なものを選び、記号で答えなさい。

- (ア) 国務大臣の任命及び罷免権
- (イ) 閣議の主宰権
- (ウ) 最高裁判所裁判官の任命及び罷免権
- (エ) 自衛隊の最高指揮監督権

問3 下線部b)に関して、つぎのうちでアメリカの大統領に認められている権限として不適切なものを選び、記号で答えなさい。

- (ア) 議会への法案提出権
- (イ) 議会を通過した法案への拒否権
- (ウ) 連邦最高裁判所裁判官の任命権
- (エ) 軍の最高司令官としての権能

問4 下線部c)に関して、つぎのうちでこのような政治体制を経験した国として不適切なものを選び、記号で答えなさい。

- (ア) 大韓民国 (イ) フィリピン (ウ) インドネシア (エ) インド

## 4 次の文章を読んで問い合わせに答えなさい。

国際連合（国連）は、国際連盟が第二次世界大戦の勃発を阻止することができなかつたという  
 反省に基づき創設された国際組織である。そのため国連憲章は、国際の平和と安全を維持するための仕組みを設けている。また、難民になった人々に国際的な保護を与える専門機関として  
 [ (1) ] や発展途上国の子どもへの食糧・医療などの長期的援助を行う機関として  
 [ (2) ] が国連に設置されている。

安全保障理事会は、国連の全加盟国を拘束する決定を行うことができる。しかし、常任理事国であるアメリカ合衆国、イギリス、[ あ ]、ロシア、中国がその決定について[ (3) ] を持っている。そのため冷戦期には、国連憲章が予定した国際の平和と安全の維持が十分に機能しなかつた。そこで、国連平和維持活動（PKO）が行われるようになった。

PKOは、伝統的には、国連が紛争当事者間に立って、停戦や軍撤退の監視等を行うことにより、事態の沈静化や紛争の再発防止を図り、紛争当事者による対話を通じた紛争解決を支援することを目的としている。しかし冷戦の終結以降、PKOの任務は多様化している。1992年に[ い ] に設置されたPKOには日本から初めて自衛隊が参加し、選挙実施の監視などを行った。また、1999年に住民投票の結果インドネシアからの独立を選択した[ う ] におけるPKOでは、主権国家としての体制を整えるための支援が行われた。

問1 空欄(1)～(3)に入る語句を書きなさい。

問2 空欄あ～うに入る国名を書きなさい。

問3 下線部(i)に関連して、国際連盟の制度についての説明として、不適切なものを一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 総会と理事会の決定は、原則として全会一致に基づいてなされた。
- ② 連盟規約に違反する戦争に対しては、経済制裁措置をとりうるのみであった。
- ③ 国際連盟の下では、国家間の紛争を司法的に処理する機関がなかった。
- ④ 政治的、経済的な力にかかわらず、全ての国家が同一の発言権と投票権を持っていた。

問4 下線部(ii)に関連して、適切なものを一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 国連憲章には、加盟国が国際連合事務局と特別協定を結んで兵力を提供し、国際連合軍を構成できることが規定されている。
- ② 1956-57年のスエズ危機の際に、国連緊急軍が、中立性を保ち自衛以外の武力を行使しないことを条件として、関係国の同意を得ないで派遣された。
- ③ 1990年8月、イラクのクウェート侵攻により始まった湾岸危機をうけて、国連の安全保障理事会の決議の下で、多国籍軍が1991年1月にイラクを攻撃した。
- ④ 国連憲章は、国連の加盟国による自衛権の行使を許容している。もっとも、加盟国は、自衛権の行使の際に自国がとった措置について直ちに総会に報告しなければならない。

問5 下線部(iii)に関連して、国連総会が軍事的行動を含む集団的措置を勧告できることにした1950年に採択された決議の名称を書きなさい。

5

労働問題に関する以下の文章を読んで、問1～問8に答えなさい。

企業は、生産の三要素、すなわち[①]、土地、労働（労働力）を用いて財やサービスを生産する。特に会社は、営利を図ることを目的とする団体である。

現在日本の企業の多くは、経済不況が長引くなかで、収益の確保増進のためにさらにコスト削減を推し進めることを余儀なくされている。こうした現状にあって、労働者は、失業、賃下げ、雇用環境の悪化など、厳しい労働環境の下にさらされがちである。

日本国民は、尊厳を有する主体として、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利（憲法25条1項）を有している。そのような権利を、適正な労使関係の下で実現できるようにするために、労働者には、労働三権、すなわち、団結権、[②]、争議権（団体行動権）が保障されている。

また、グローバルな経済競争が激しくなってゆくなか、労働者の労働条件の改善に国際規模で取り組むことが、益々重要な課題となっている。[③]は、労働条件の改善を国際的に実現することを目的とする国連の専門機関として、こうした課題に継続的に取り組んできた。

問1 ①～③に当てはまる語句を書きなさい。

問2 下線(a)に関して、2005年に制定され、株式制度などの基礎を定めた法律の名称を答えなさい。

問3 下線(b)に関して、会社が、本来の営利活動以外に、文化・芸術の向上に貢献するために資金等を提供して支援する例が増えてきた。こうした活動をカタカナで何と呼ぶか書きなさい。

問4 下線(c)に関して、労働者一人あたりの仕事を減らすことで仕事の総量をより多くの人に分配し、失業を減らそうとすることを何と呼ぶか書きなさい。

問5 下線(d)に関して、正しいものを1つ選びなさい。

- ① 生活保護は世帯単位で行い、世帯員全員が、その利用しうる資産、能力その他あらゆるもの、その最低限度の生活の維持のために活用することが条件となっている。
- ② 支給される生活保護費は、地域の違いにかかわらず、同一である。
- ③ 労働者災害補償保険は、労働災害の補償のための保険である。その保険料は、使用者と労働者で折半する。
- ④ 雇用保険制度は、1947年の失業保険法によって定められている。

問6 下線(e)に関して、公務員の労働三権の制限について、誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 公務員には、争議権が認められていない。
- ② 国家公務員の非現業職員には、労働協約締結権が認められていない。
- ③ 消防職員には、団結権のみが認められている。
- ④ 自衛隊員には、労働三権のすべてが認められていない。

問7 下線(e)に関して、労働組合法は、団結権等の労働三権を使用者が侵害する行為を禁止している。その行為を何と呼ぶか書きなさい。

問8 下線(f)に関して、企業が、より安価な労働力を求めて生産拠点を海外に求めた結果、国内産業に欠落を生じてしまう現象を何と呼ぶか書きなさい。

6

次の文章を読んで各間に答えなさい。

市場経済の中で、企業は、生産・販売活動をおこない、財やサービスを提供する形で家計とつながり、同時に、利潤などに対して課される税金を納める形で政府と結びついている。こうした経済主体としての企業がとる会社形態には、合名会社・合資会社・合同会社・株式会社の4種類がある。中でも、株式会社は、資本主義が生み出した最大の発明の一つと言われている。

株式会社は、株式（株券）を発行することによって巨額の資本を集めることを可能にし、大規模な経済活動をおこなうに適した会社形態である。株式会社では、出資者全員が 有限責任社員<sup>(a)</sup>であり、万が一、会社が倒産した場合でも、出資者である株主は、出資額の範囲内でしか責任を負わなくて済む。

一般に、株式会社の形態をとる大企業では、「(　あ　)と経営の分離」が確立し、経営には出資者である株主とは別に、専門の経営者がこれにあたる。具体的には、選任された取締役<sup>(b)</sup>が取締役会を構成し、この取締役会によって経営に関する意思決定がおこなわれる。さらに取締役の中から、会社を代表する代表取締役が選出され、取締役会は、この代表取締役を監督する機関としての義務も負う。

株式会社制度に関連する近年の法改正をみると、戦後、(　い　)第9条によって禁止されていた持株会社の設立が、1997年に解禁となった。これにより、多くの企業は持株会社に移行し、事業内容の再構築（リストラクチャリング）を加速させている。

問1 企業が生み出した利益のうち、賃金や税金、配当などに充てられた部分を除き、将来の活動のために蓄えられる部分を何と呼ぶか。

問2 下線部(a)に関して、有限責任社員を含まない会社形態を番号で一つ選びなさい。

- ① 合名会社 ② 合資会社 ③ 有限会社 ④ 合同会社

問3 本文中の空欄(　あ　)に最も適当な語句を記入しなさい。

問4 下線部(b)に関して、取締役や監査役の選任・解任をおこなう株式会社の最高議決機関を何と呼ぶか。

問5 本文中の空欄(　い　)に当てはまる法律名を記入しなさい。

問6 戦前、持株会社として巨大なコンツェルン（企業連携）を形成し、日本経済に大きな影響を与えた同族支配の企業集団を何と呼ぶか。